

# 前橋市の植物

～平成 19 年度前橋市自然環境調査（植物）概要版～





## 調査の目的

私たちのまち前橋は、雄大な赤城山の南面に位置し、利根川や広瀬川などの美しい流れと緑豊かな自然に恵まれたまちです。

この環境を守り、将来に引き継ぐことはとても大切なことです。

市では、その取り組みの一つとして、平成9年から10年にかけて市内で見られる様々な動植物（植物、鳥類、魚類・水生生物、ほ乳類・は虫類・両生類、昆虫）の一斉調査を行い（大胡・宮城・粕川地区では平成17年度に実施）、その後テーマごとに追跡調査を続け、今年は植物をテーマに調査を行いました。

また、家の周りや公園などで気軽に参加できる「市民調査」の呼びかけも行いました。

私たちが受け継いできた前橋の自然をこれからも大切にしましょう。

## 調査の概要

前橋市による調査「植物調査(植物相・植生)」と市民による調査「サクラ(ソメイヨシノ)調査」を実施しました。調査の内容、期間などの概要は以下のとおりです。

調査内容	実施者	調査実施期間	調査地点
植物相・植生	前橋市	春季 平成19年4月18日～20日 夏季 平成19年7月23日～25日 平成19年8月9日～11日 秋季 平成19年10月9日～11日	市内15地点
サクラ調査	市民	春季 平成19年3月～平成19年4月20日	市民が任意に選定した47地点

### 調査の方法

#### ●植物相調査

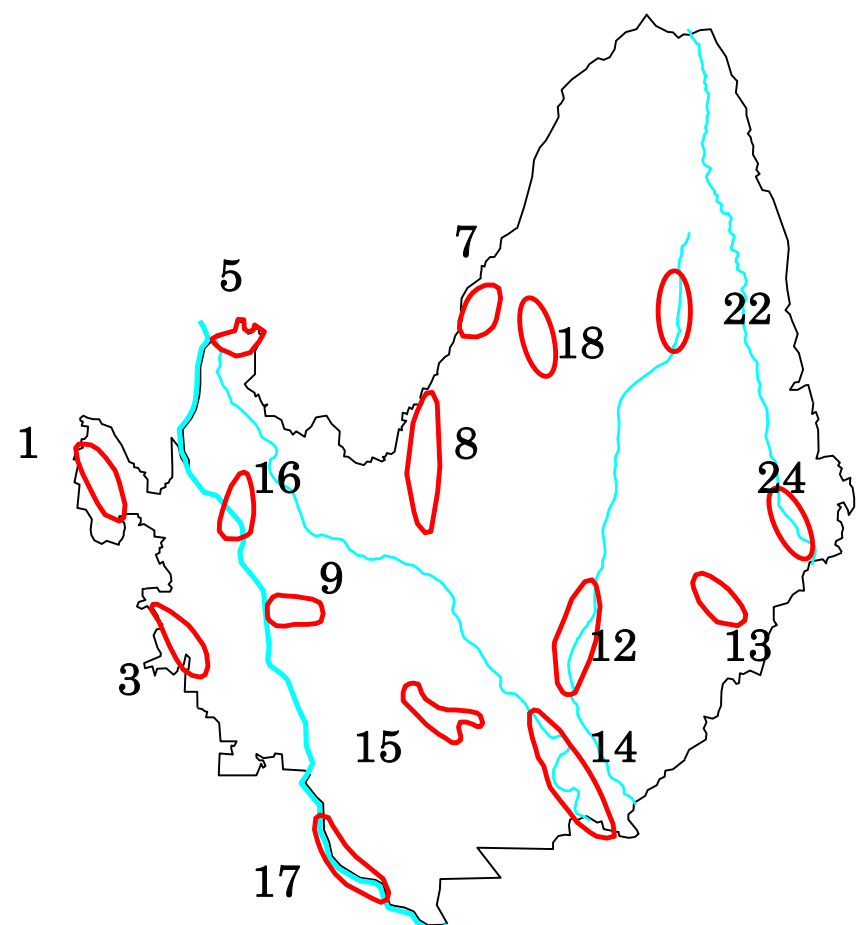
どのような植物が生育しているかを調べ、植物の種類のリスト(植物目録)を作成しました。

#### ●植生調査

調査場所に生育する植物の集まり(植物群落)の外観を観察し、大まかに森林(落葉広葉樹林、アカマツ林等)や草地、田畑、市街地などに区別しました。

#### ●サクラ(ソメイヨシノ)調査

調査員となった市民が、身近にあるサクラを調査木に選び、開花日と満開日を記録しました。



#### 植物相調査・植生調査を実施した地点

これまでに調査した市内10地区24地点のうち15地点を選び調査しました(数字が地点番号を示します)。

※表紙の写真

表紙中央：ノハラアザミ・左上：ヤクシソウ・右下：ガマズミ  
裏表紙：ソメイヨシノ(前橋市役所前)

# 調査の結果

## 1. 調査地点の概況

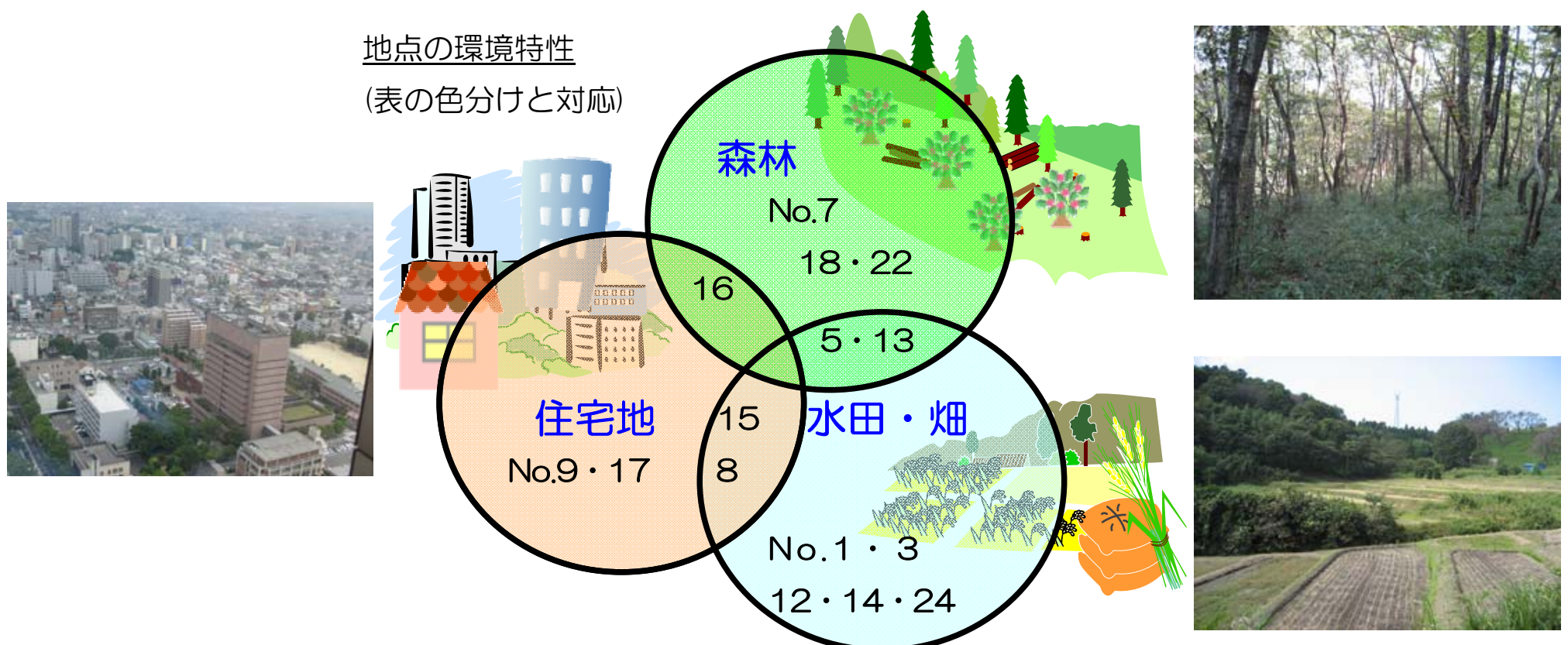
表と図の色分けは、大まかな環境区分です。

地点別の確認種類数が最も多いのは地点No.7で293種類、最も少ないのは地点No.15で165種類でした。

森林が多い地点
  水田や畑が多い地点
  住宅地など建物が多い地点

地区名・地点番号		概要	確認種類数	主な植物群落	主な植物
清里・総社	No.1	八幡川	254	畑地	ヨモギ、ジャノヒゲ、ミゾソバ
元総社・東	No.3	染谷川	238	畑地	アカザ、ナズナ、オモダカ
南 橋	No.5	中子沼、ホタルの里、橋山	252	アカマツ林(橋山)、 落葉広葉樹林	フジカンゾウ、ノハラアザミ
芳 賀	No.7	大堤沼、嶺公園	293	落葉広葉樹林、湿性 植物群落(嶺公園)	ミズバショウ、リュウキンカ、 ホトケノザ
	No.8	藤沢川、芳賀団地	236	水田	ウシハコベ、コオニタビラコ
本 庁	No.9	県庁・市庁舎、利根川 河川敷	255	高茎草地(河川敷)	クロマツ、シロバナタンポポ
桂 菅・ 永 明・ 城 南	No.12	荒砥川	199	水田	ヨシ、クサネム
	No.13	大室公園、乾谷沼	268	落葉広葉樹林、湿性 植物群落(乾谷沼)	ヒヨドリバナ、ツユクサ
	No.14	桃ノ木川	227	畑地	ヒルガオ、クズ、キクイモ
上川淵・ 下川淵	No.15	広瀬川、八幡山公園	165	クロマツ林(八幡山 公園)、果樹園(ナシ)	クコ、ハハコグサ
利根川- 敷島公園	No.16	敷島公園、利根川河川 敷	209	アカマツ林(敷島公 園)	タネツケバナ、ヒメヤブラン、 メリケンガヤツリ
利根川- 下川団地	No.17	利根川河川敷、下川団 地	206	畑地	カタバミ、フキ、 セイタカアワダチソウ
大 胡	No.18	寺沢沼、ぐりーんふら わー牧場	280	スギ・ヒノキ林、 落葉広葉樹林	ヤマナラシ、トウギボウシ、 ヤクシソウ、ヤブミョウガ
宮 城	No.22	ぐんまフラワーパー ク、荒砥川	276	スギ・ヒノキ林、 落葉広葉樹林	イノモトソウ、フデリンドウ、 ガマズミ
粕 川	No.24	粕川	222	畑地	オギ、ススキ、オオイヌタデ

地点の環境特性  
(表の色分けと対応)





## 2. 植物相

調査の結果、全地点を合わせて132科742種類の植物を確認しました。

種類数の内訳は、自生種543種類、帰化種114種類、植栽種42種類、逸出種43種類でした。このうち、帰化種は市街地など人手の加わった場所に多いことから、その割合は地点の自然性の高さ・低さの目安(指標)にもなります。

確認種類の多かった地点は、自生種の割合が多く帰化種の割合が少ない傾向があり、農耕地や里山など比較的良好な環境が残っているため、種類数が多くなったと考えられます。

### ●自生種

自然に生育している植物。

### ●帰化種

もともと日本やその地域に生育せず、海外等から人の手や、荷物に混じって移動し、繁殖している植物。

### ●植栽種

公園、花壇などに人が植えた植物。

### ●逸出種

植栽種のうち、種子の飛散などで、植栽場所以外で生育している植物。

### ●生物多様性

生物多様性とは生物の種類の数と、生物が生活する場所(生息・生育環境)が森や川、草地など様々であることです。

多くの生物と生息・生育環境があるほど、地域の自然は健全で安定しています。

今回の調査では、742種類の植物を確認し、森林や草地、水田・畑など様々な環境が見られました。今後も調査を続け、前橋市の生物多様性を見つめていく必要があります。

## 主な植物

自 生



ノコンギク

帰 化



セイタカアワダチソウ

植 栽



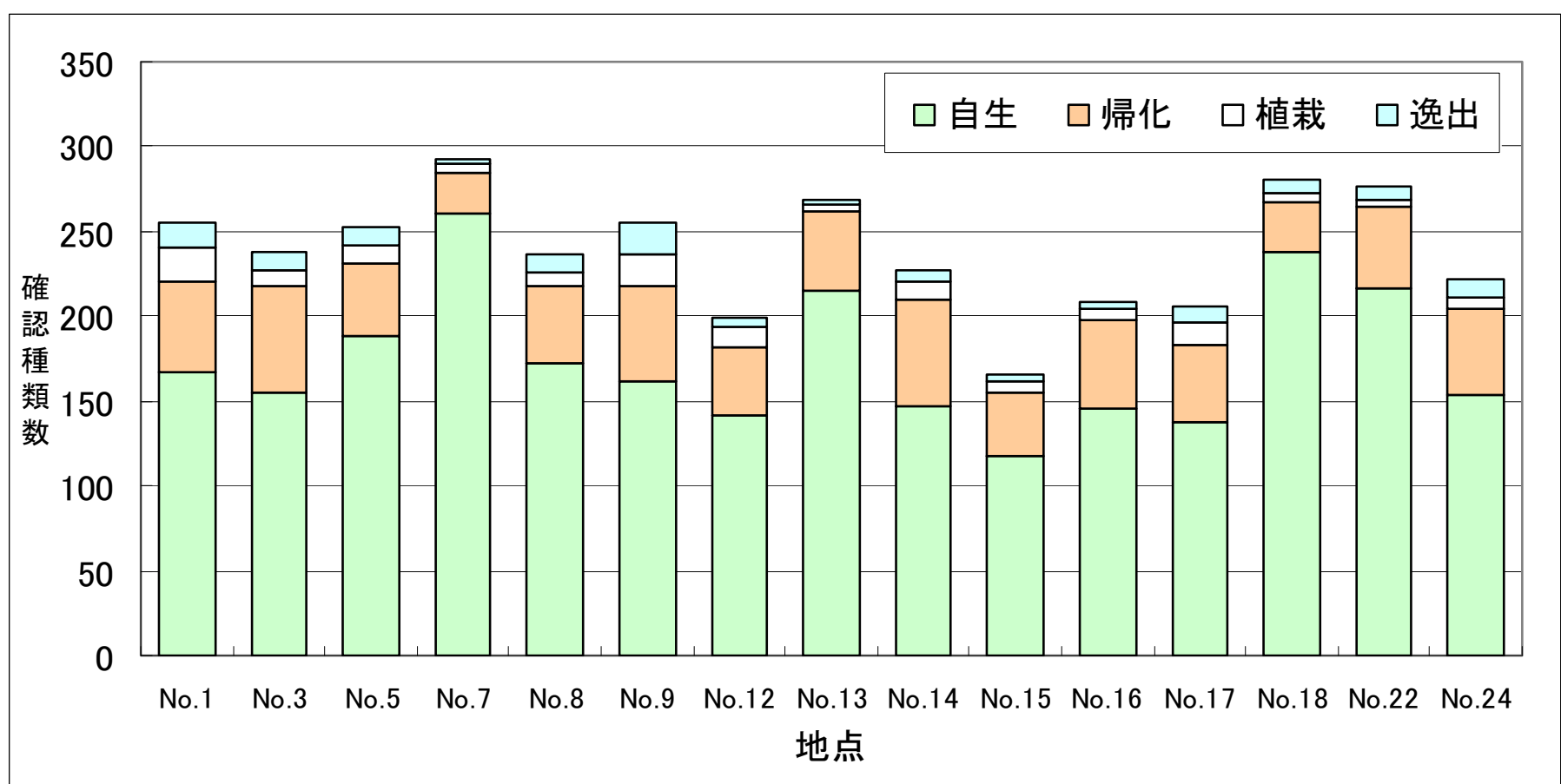
クロマツ

逸 出



カキノキ

地点別にみた種類数と自生種・帰化種等の内訳





### 3. 植 生

今回の調査では、里山を構成するコナラなどの落葉広葉樹林、スギ・ヒノキ林、アカマツ林、平野部を中心に水田、畑地、果樹園などの植物群落が確認されました。また、利根川等の河川沿いではハリエンジュ林、ヨシなどからなる高茎草地も見られました。

これまでの調査結果と比べ、植生の種類に大きな変化は見られませんでした。一部の地点では田畑の宅地化や、マツ枯れの進行などの変化が見られました。

里山植生の一例



ため池と耕作地（粕川地区）



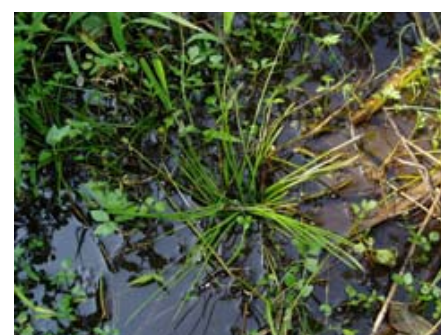
コナラなどの落葉広葉樹林（宮城地区）

### 4. 注目すべき植物

今回の調査で、前橋市で注目すべき種は 11 科 13 種類が確認されました。これらの種類は環境省および群馬県で指定している絶滅や減少が心配されている植物です。

前橋市内で見られた注目すべき植物

科	種	出典*			
		環境庁	群馬県	前橋市	
ミズニラ	ミズニラ	VU	A	—	
ドクダミ	ハンゲショウ	—	A	—	
アブラナ	コイヌガラシ	NT	E	—	
ミソハギ	ミズマツバ	VU	A	—	
ムラサキ	ホタルカズラ	—	B	—	
ゴマノハグサ	カワチシャ	NT	B	—	
キク	ホソバニガナ	EN	A	—	
ユリ	ノカンゾウ	—	B	—	
	ヤマユリ	—	—	F	
イネ	ウキシバ	—	D	—	
ミクリ	ミクリ	NT	A	—	
ラン	ササバギンラン	—	—	F	
	シュンラン	—	C	—	
合計	11	13	6	11	2



ミズニラ



ハンゲショウ



ヤマユリ

\*環境庁 「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物」(2000年、環境庁)  
 EN：絶滅危惧ⅠB類 VU：絶滅危惧Ⅱ類 NT：準絶滅危惧  
 群馬県 「群馬県の絶滅のおそれのある野生植物のリスト」(群馬県ホームページ)  
 A：群馬県絶滅危惧Ⅰ類 B：群馬県絶滅危惧Ⅱ類  
 C：群馬県準絶滅危惧 D：群馬県情報不足 E：希少  
 前橋市 F：基礎調査で地域的な注目すべき植物種とした種

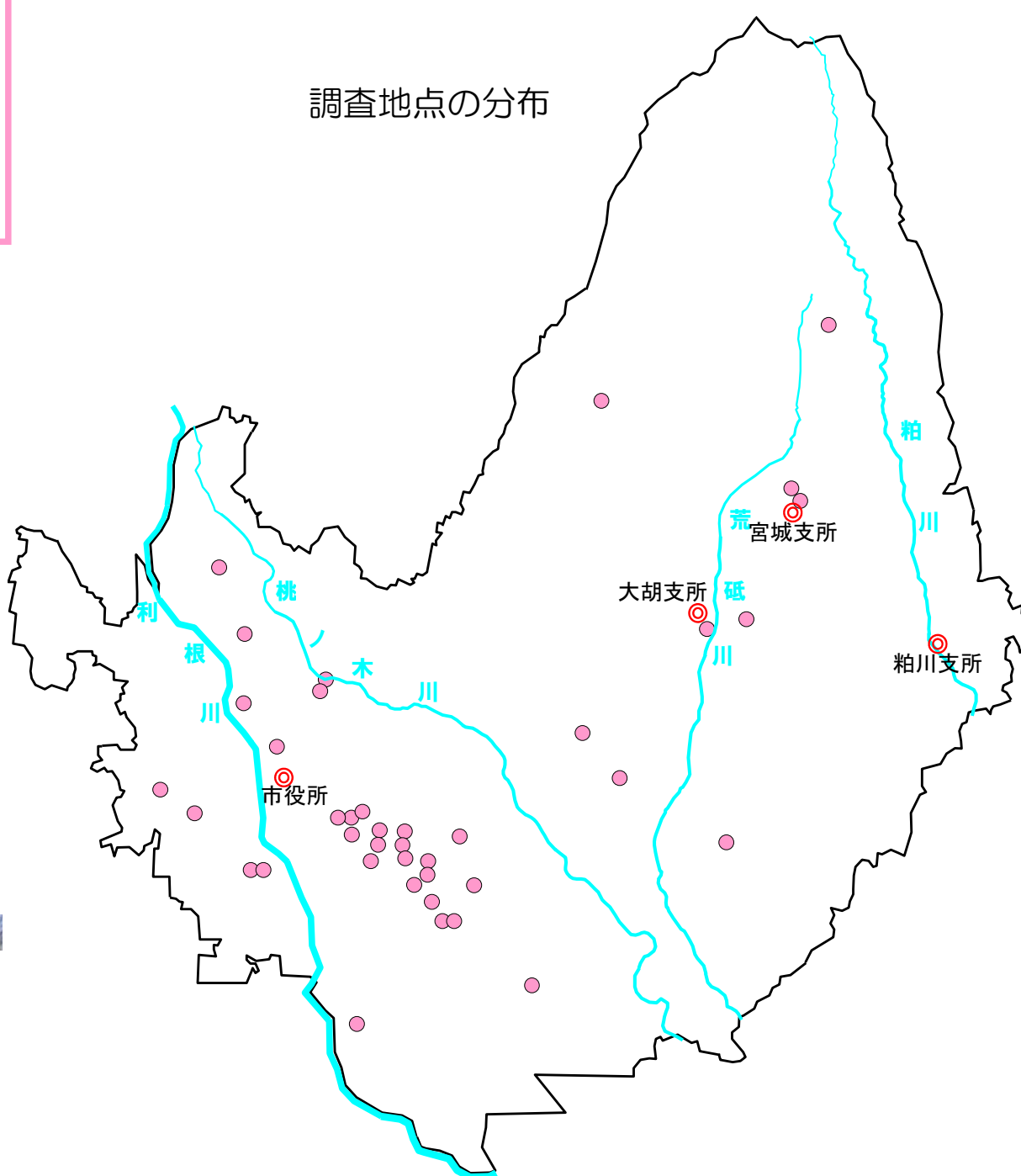
## 5. 市民調査

植物相・植生調査のほかに、市民参加型の調査を取り入れ、平成 19 年はサクラ（ソメイヨシノ）の開花調査を行いました。

調査期間	平成 19 年 3 月～4 月 20 日
参加人数	45 名
調査地点数	47 地点
開花日	3 月 20 日～4 月 4 日
満開日	3 月 29 日～4 月 15 日
開花日から満開日までの日数	平均 8 日(過去 3 年の平均：5 日)

平成 19 年のサクラの花の状況は、例年と比べ早く咲き、満開までの日が長めで長くサクラを楽しめたようです。

調査地点の分布



市民調査地点（前橋公園）

幼稚園・小中学校の子供から大人まで、幅広い方々の参加があり、毎年の調査が積み重ねられている場所も増えてきました。

今後も調査場所が増え、市内全域に調査が広がっていくことが期待されます。



市内で見られる  
天然記念物(植物)

市内には天然記念物として指定されている植物も数多く見られます。

天然記念物とは、国や地方自治体（県、市町村など）により指定され、長い歴史の中で植物がどのように進化してきたか、また私たち日本人が自然にどのような思いを抱いてきたのかを知るうえで、価値の高いものとして大切に保存されています。

今ある天然記念物をこの先もずっと残していくことは、私たちが住みやすい環境を守っていくことにもつながります。

市内で見られる天然記念物にも目を向け、私たちが住みやすい環境を未来に引き継いでいきましょう。

【県指定天然記念物：三夜沢赤城神社のたわらスギ】



赤城神社の境内にひときわ目立つ三本のスギの大木があります。

このスギは、天慶の乱(935年)で平将門を滅ぼした平安時代の武将、藤原藤太秀郷が献木したといわれています。

※「たわらスギ」をはじめ、前橋市には他にも多くの天然記念物に指定されている植物があります。

(平成 19 年 10 月 1 日現在)

○県指定天然記念物(指定年月日順)

指定年月日	指定物件名	所在地
昭和 27 年 11 月 11 日	月田のモチノキ	粕川町月田 1308
昭和 48 年 4 月 25 日	三夜沢赤城神社のたわらスギ	三夜沢町 114 赤城神社

○市指定天然記念物(指定年月日順)

指定年月日	指定物件名	所在地
昭和 44 年 6 月 27 日	<small>ひいらぎ</small> 柎 樹林	河原浜町 393 応昌寺
昭和 55 年 4 月 1 日	三夜沢のブナ	三夜沢町 354-1
平成 4 年 8 月 18 日	大穴のブナ	柏倉町
平成 5 年 4 月 16 日	前橋高等学校のラクウショウ	下沖町 321-1 前橋高等学校
平成 9 年 4 月 21 日	総社神社の社 <small>しゃ</small> 叢 <small>そう</small> けやき 6本	元総社町一丁目 31-45 総社神社
平成 10 年 4 月 10 日	西大室町公民館のオハツキイチョウ	西大室町 1684 西大室町公民館
平成 11 年 4 月 20 日	元総社町石井家のクスノキ	元総社町 2 2 2 1
平成 12 年 4 月 14 日	井出上神社のシイ	飯土井町甲 1 井出上神社
平成 12 年 4 月 14 日	春日神社のケヤキ	上佐鳥町 374 春日神社
平成 13 年 3 月 21 日	金剛寺のナツメ	苗ヶ島町 1147-2 金剛寺





前橋市生活環境部環境課

〒371-8601

群馬県前橋市大手町二丁目 12 番 1 号

T E L . 027-890-6292 (直通)